

2月



2月5日（月）

～今日の給食～

- いわしのつみれ汁
- おかかあえ
- 味付けのり（3上）
のり佃煮（3末）
- 果物



☆給食の先生からのお話☆

節分にいわしを食べる由来は

① 鬼は煙がきらい

節分には煙をたくさん出して、鬼を払いたいので、油がのっているいわしを焼くと、たくさん煙が出ます。臭いもあり、いわしを焼くのがいいとされています。

② 鬼は柊（ひいらぎ）が嫌い

柊の葉は硬くて棘があり、柊の葉は鬼の目を刺すので苦手とされています。

これらの理由から、柊鰯（ひいらぎいわし）や、節分鰯と言われ、柊の小枝と焼いた鰯の頭を鬼が入ってこないように玄関や軒先に飾るようになったと言われています。



☆子どものぶやき(反応)☆



実際にいわしのつみれを食べてみると「おいしい！」という子どもがほとんどでしたが、中には「くさい～」や「タコの味がする・・・」といった子どももいました。いわしの味が苦手な子どもも、鬼が来ない為ならと頑張って食べていましたよ！！

実際に給食のせんせいがいわしを焼いて持ってきてくれていましたが、いわしを嗅いでみて「こんなにおいなんだ」「鬼ってこれが嫌いなんだね～」と会話する姿が見られました。